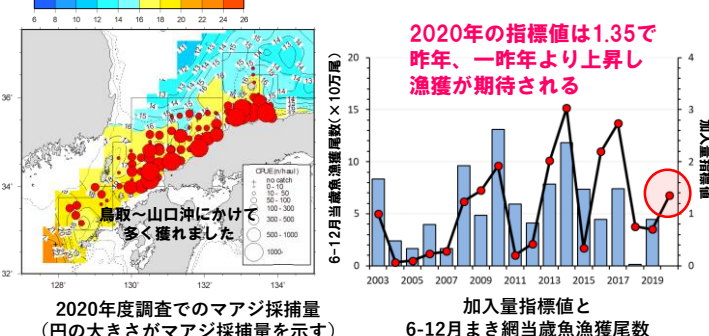


水産試験場

マアジの加入量調査結果について

- 水産試験場では2003年から毎年5～6月にかけて「マアジ新規加入量調査」を行い年内のマアジの当歳魚の漁獲予測を行っています。
- この調査は、試験船第一鳥取丸で表層トロールを行い、その年生まれのマアジ幼魚(体長4cm程度)の分布量がどれくらいか山口県・鳥根県および(国研)水産研究・教育機構と連携して実施しています。
- 今年度の調査では、鳥取県～山口県にかけての沿岸で、例年と比較多くのマアジ幼魚を採集することが出来ました。
- このことから、今年のマアジの加入が特に山陰沿岸で良好であったと考えられるため、水揚量は前年を上回ると予測されました。
- この資源を大切に獲り続けることで、資源の維持・増大が図られ、境港に多くのマアジが水揚げされることを期待します。



令和2年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

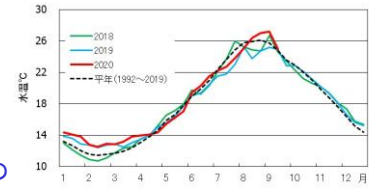
本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330



鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

9月中旬 24.9℃
平年より約0.1℃高め



9月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥根沖冷水	鳥根県沖北緯36°20'以北に認められます(10℃以下)。
山陰・若狭沖冷水	鳥取県沖では北緯37°以北に認められます(10℃以下)。
その他の水塊	冷水域:隠岐諸島北緯36°30'付近に鳥根沖冷水の一部が張り出しています。鳥取県東部沖北緯36°付近に冷水域(12℃)が認められます 暖水域:鳥取県東部沖北緯36°30'付近に暖水域(15-18℃)が認められます。
対馬暖流	朝鮮半島東岸に沿って北上し、一部が鳥根沖冷水の12℃等温線に沿って流れると考えられます。その後、隠岐諸島北緯36°付近に張り出した冷水域に沿って南東方向に向かい流れると考えられます。鳥取県東部沖の冷水域には反時計回り、鳥取県東部沖暖水域周辺には時計回りの流れが生じると考えられます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★水産課からのお知らせ★

令和2年度鳥取県密漁防止対策協議会

- 9月9日に鳥取県漁協本所で密漁防止対策協議会が開催されました(事務局:鳥取県漁協)。
- 協議会では、水産課から漁業権について説明したほか、密漁の発生状況・検挙状況について漁協・海上保安署から発表がありました。
- 本協議会は4年ぶりの開催でしたが、密漁の発生状況は、横ばい若しくは増加といった状況が確認されました。
- 密漁者を発見した場合は速やかに、海上保安署等に連絡するようにしてください。



鳥取海上保安署(東から青谷まで) 電話:(0857)32-0118
境海上保安部(泊から境港まで) 電話:(0859)42-2531

栽培漁業センター

キジハタ(あこう)の種苗放流を行いました!

鳥取県では、平成28年からキジハタ種苗放流を漁業者主体の事業として行っています。今年も県内各地で約5万4千尾のキジハタの放流を行いました。

また、栽培漁業センターでは、放流種苗の一部に目印をつけています。これまで腹鰭の片方を抜いていましたが、昨年からは背鰭の前方を除去しています。

こうして目印をつけ、市場に水揚げされた個体の鰭を確認することで、放流した個体がどのくらい水揚げされているのかを調べています。今年放流した種苗が市場に上がるのは2,3年後以降ですが、放流魚を見つけたらご連絡ください!



背鰭前方の棘がないか、形がおかしいが目印です。

元気に泳いでいました!

放流作業にご協力いただいた皆さま、お疲れさまでした!

今後、追跡調査を行います。ご協力よろしくお願いします。

潮に夢を 共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530